



No.389 令和4年3月28日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 舟久保利明
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区中央8-5-1
電話(3752)3391
城南印刷工業株式会社



「上司の紹介の仕方」を学ぶ受講者たち

大田工業連合会と大田区は1月21日、区内企業の新入社員（中途採用も含む）を対象とした新入社員セミナーフォローアップ研修を開催した。会場は大田区産業プラザ6階C会議室。コロナ禍のため、2021年7月の研修はオンラインで実施した。消毒や検温など万全の対策で迎えたフォローアップ研修は、受講者にとって初めて互いに顔を合わせる得がたい場となった。講師は、「人材総合プロデュース」として企業・官公庁などの組織で「人」に関する課題解決をサポートしている株式会社アール&キャリアの専属講師、後関和子先生と、下村透百香先生が務めた。三陽機械製作所、昭和製作所、シンレキ工業、千蔵工業、日新電気から合計11名が

受講者として参加した。

研修はA、Bの2グループに分かれて行われた。両グループでは各人が自己紹介を行った後、2021年4月に入社してから約10カ月について振り返るグループディスカッションを実施した。「配属されてギャップを感じたこと、大変だったこと」については、「製品の知識が無いまま入社して苦労した。車の運転も慣れていないので大変だった」「数千個の部品を作る日があり、一日中その仕事しかないのが辛かった」などの体験談が飛び出した。「上手くいったこと、成長したなと思うこと」については「入社直後は先輩と一緒に操作できなかった機械が、今は一人で動かせるようになった」「営業で新規開拓ができた」などのエピソードが並んだ。

後関先生は、仕事の原理原則として「お客様の期待は常に上昇志向です。現状維持は後退に等しい。仕事をしていくことで常に改善・前進していくことが大事です」「サービスは『100-110』少しのミスで台無しになる。サービスの不良品は手直しできず、鎖のように繋がっている。社内の全ての応対者がいつでもどこでも一定水準以上のサービスを提供することが必要です」と語った。効果

長い冬も終わり、間もなく桜舞う季節が訪れる。今回、研修を受けた11人も、それぞれの職場で2年目を迎え、新たに後輩が入社してくるケースもあるだろう。研修で学んだことを後輩に伝えていけば、各職場、各社のビジネスレベルが向上する。同じ地域の他の会社と同世代の友人をつくる機会を得られたことは、社会人として生きる上で大きな財産となった。

目的の地への地図を作りながら、仕事の効率的な進め方、コミュニケーションの重要性を学ぶワークショップも行われた。受講者には目的の地へのヒントとなる情報カードを配付。カードの内容を仲間口頭で伝え、情報を交換。共有情報をもとに出発地から目的の地への地図を書き上げ、その正確性や分かりやすさを競った。

的な仕事の進め方については「仕事の基本は何が目的で何が手段なのかを見失わないことです。生産性の向上は仕事の組み合わせ次第。常に同時並行で進めましょう。業務遂行にあたっては、報告、連絡、相談を徹底。問題が起きてから報告するのは絶対にいけません」と講義した。



後関和子先生

新入社員セミナーフォローアップ研修 社会人の「キホン」を対面で伝授

【大田区優工場 新製品・新技術コンクール】

表彰事業で受賞された企業をご紹介します。
受賞企業の皆様、おめでとうございます。

令和3年度

大田区優工場 受賞企業

- | | |
|-------------|--|
| 《総合部門賞》 | ・株式会社 酒井製作所 |
| 《人に優しい部門賞》 | ・株式会社 エース |
| 《まちに優しい部門賞》 | ・株式会社 ハタダ |
| 《審査委員特別賞》 | ・株式会社 三和産業 |
| 《認定工場》 | ・株式会社 極東精機製作所
・株式会社 熊井製作所
・株式会社 ニイツマックス
・株式会社 豊樹脂 |

第33回

大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 入賞製品・技術

- | | |
|---------------|---|
| 《最優秀賞》 | ・搬送用 AMR:Mighty-D3（株式会社 Piezo Sonic） |
| 《優秀賞》 | ・KINETIC LIGHT BLADE（トキ・コーポレーション 株式会社）
・ロボット式完全自動化 T ダイ（アクスモールディング 株式会社） |
| 《奨励賞》 | ・植物工場省人化設備「移植機 OH-Sn MK II」（株式会社 大橋製作所）
・耳掛け型ワイヤレスヘッドセット（株式会社 日特） |
| 《おおたアイデア賞》 | ・飛沫防止プロンプター（株式会社 アシスト） |
| 《おおたネットワーク賞》 | ・急斜面对応型 半自律走行草刈ロボット（株式会社 エース） |
| 《おおた ECO 推進賞》 | ・詰め替えそのまま専用パック（株式会社 三輝） |
| 《おおた秀逸技能賞》 | ・健康ダンパー及び両絞り健康ダンパー（JPN 株式会社） |

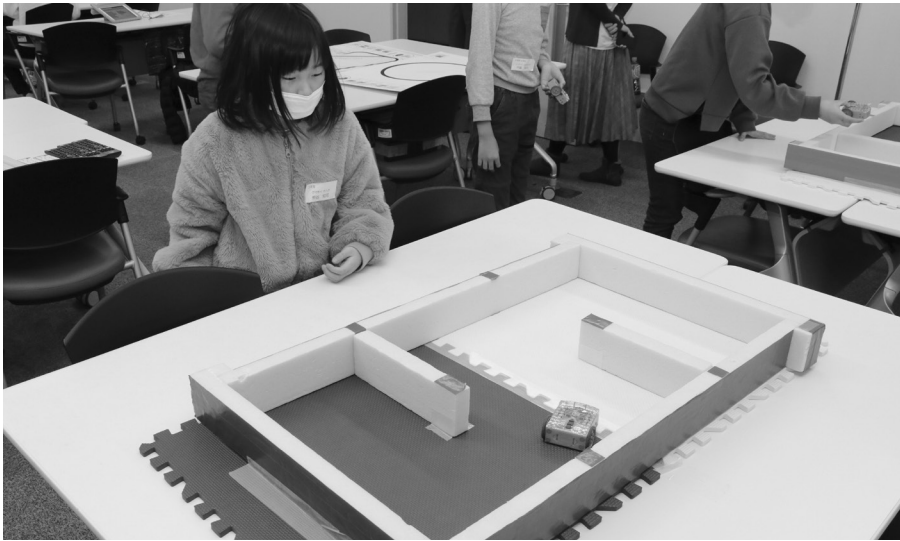
小中学生熱中！ ロボットプログラミング教室開催

集え、未来のロボット技術者たち。

大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は2月13日と3月6日、大田区産業プラザP・i・Oの6階C会議室で「ロボットプログラミング教室」を開いた。新型コロナウイルス感染第6波の最中ではあったが、参加者の検温や靴底の消毒、マスク着用、イベント運営者や講師のフェイスガード着用など徹底した感染防止対策を施し開催した。2月13日の午前の回には区内の小学3年生から中学1

年生、合計14人が参加した。

教材として使ったのは、オーストラリアのマイクロブリック社が発売する小型の教育用プログラミングマブルロボット「エジソン」だ。発明家、トーマス・エジソンの名前を冠した同ロボットは、低価格ながら2つのモーター、4つのセンサーを搭載した本格派のプログラミングツールも初級から上級まで4種類用意されている。



子供たちは障害物コースに何度も挑戦

講師である株式会社ビートランスの原田洋一代表取締役は、子供たちを前にエジソンの機能を説明した。「エジソンには4つのセンサーがついています。明かりセンサー、赤外線センサー、音センサー、底面のライセンサーです。原田先生の話を聞いた子供たちは、実際に各センサーの性能を試した。音センサーについては「手を1回叩くとその場で旋回、2回叩くと直進します」との原田先生の言葉に従い、

手を叩いてエジソンを動かした。

黒い太い線で描かれたコースの上にエジソンを置くと、底面のライセンサーが線を読み取り、コース通り進む。「最初に白い所に置いて始めないと、センサーがうまく反応せずコース通りに進みません」と原田先生が教えると、あえて黒いところにエジソンを置き、挙動を確かめる子供もいた。懐中電灯を使い、エジソンの鼻先に光を当てると、エジソンはセンサーで光を読み取りその動きを追尾する。猫じゃらしに飛びかかる猫のようなエジソンを見て、子供たちは「カワイイ!」と歓声を上げた。



エジソン

講義がプログラミングに移ると、子供たちにiPadが配られた。最も入門者向けの「EdBlocks（エドブロックス）」というプログラミングツールを使い、エジソンを正方形の軌道で

走らせるようプログラミングを行った。画面上にブロックのようにグラフィック化されたコマンドが表示される。直感的なインターフェイスだ。1秒直進し、0.45秒旋回。それを繰り返すことで正方形の軌道で走る。各人のテーブルで、エジソンは命を吹き込まれたように動き出した。

最後は、エジソンにS字型のコースを走らせる障害物競走だ。直進する時間（距離）、旋回するタイミングが合わないと、エジソンはゴールまで辿り着かない。子供たちがコースを走らせると、壁にぶつかるエジソン、コースを逆走してしまうエジソン、立ち往生してしまうエジソンが続出した。子供たちは止まったエジソンを掴むと再び机に戻り、プログラミングを修正。積極的に何度もコースに挑み、多くの子が障害物コースをクリアした。

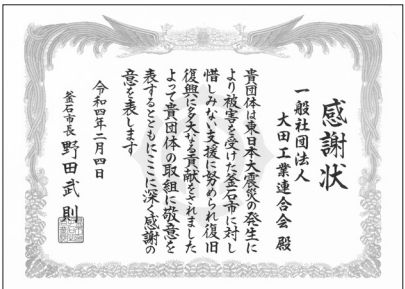
同教室は2時間の長丁場だったが、子供たちは飽きた様子もなく、講師の話に耳を傾け、熱心にプログラミングに取り組んだ。参加した重野瑛衣志さんは「最後の課題でエジソンのプログラムを微調整していくところが難しかった」とコメント。浦野愛菜さんは「最初は分からないこともあったけれど、慣れてくるとどんどん楽しくなった。また参加したい」と笑顔を見せた。

東日本大震災時の支援に対し 岩手県釜石市から感謝状

約10年前、東日本大震災に際して行った大田工業連合会の復興支援に対し、2022年2月4日、岩手県釜石市から感謝状(写真)が届いた。

大田工業連合会は2011年5月30日、舟久保利明会長ほか合計5名で被災地支援のため岩手県釜石市を訪れた。釜石市と大田区は共に「工業の町」であり、震災以前から関係者間の交流があった。舟久保会長らは釜石市長らと面談し、大田工業連合会の会員各社などから集めた義捐金400万円を寄付した。

感謝状は当時の支援に対し、敬意と感謝の気持ちを込めて贈られた。添え状には「釜石の復興は、これまでに頂戴いたしました様々な支援をなくして、決して成し得たものではございません。これまで培われてきた皆さま方との縁を大切にしながら今後とも、市民一丸となって撓まず屈せず、復興あゆみを進めて参りたいと存じます」との決意が表明されていた。



東日本大震災の支援に伴う感謝状

人権研修を支援します

「人権」は誰もが生まれながらにもつ権利であり、幸せに生きていくために、企業活動においても最大限尊重されなければなりません。

一方で、長時間労働による過労死、就職活動や職場におけるハラスメント問題などの人権問題がしばしばメディアで取り上げられています。

このような人権問題を起こさないためには日ごろから一人ひとりが人権について考え、理解することが大切です。

区ではさまざまな人権啓発冊子の配布や、人権問題に関するDVDの貸し出しなどを通じて企業の人権研修を支援しています。お気軽にお申し出下さい。この機会に改めて「人権」について考えてみましょう。

大田区総務部人権・男女平等推進課

電話 5744-1148

FAX 5744-1556

働き方改革&サイバーセキュリティセミナー開催



パワハラについて解説する上野先生

「働き方改革」と「サイバーセキュリティ」。一見無縁に見える組み合わせだが、企業や人が安全安心快適に仕事を進める上で、どちらも重要な要素だ。

大田工業連合会はこの2つのテーマをミックスし、リアルとリモートで実施するハイブリッドなセミナーを、2月10日大田区産業プラザP i O 3階特別会議室で開催した。講師は上野たかこ社会保険労務士事務所（東京都千代田区）の上野孝子代表と、情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンターの稲垣克芳特命部長が務めた。

上野先生は、労働者と事業主が争いになったとき、裁判によらない円満解決を実現できる「特定社会保険労務士」だ。2022年4月1日からパワーハラスメ

ントの防止に関する法律（改正労働施策総合推進法、通称パワハラ防止法）が中小企業にも適用されるようになることを踏まえ、パワハラ の定義や類型、防止対策について解説した。

上野先生によると、パワハラとは「優越的な関係を背景とした言動」「業務上、必要かつ相当な範囲を超えているもの」「労働者の就業環境が害されているもの」の3要素を全て満たしたものだという。身体的な攻撃、精神的な攻撃からプライベートの侵害まで6類型に分類される。「パワハラを防止するためには、あいさつや天気の話など普段からコミュニケーションを取ることや言葉の表現に気を付けることが重要」と述べた。

続いての稲垣先生はリモートで登壇した。モニター画面の稲垣先生は、サイバー攻撃の脅威にさらされる中小企業の実態と対策について講義。特に中小企業、製造業にリスクの高いサプライチェーンの弱点を悪用した攻撃については、原材料や部品の調達、製造、物流、販売など一連のサプライチェーンにおいて、セキュリティ対策が甘い組織が狙われるケースを過去の新聞記事などから紹介。中小企業にサイバー攻撃対策を安価に提供する「サイバーセキュリティお助け隊」認定制度などについて解説した。

ウクライナ侵攻でサイバー攻撃が増加

《《《工和会の取り組みを紹介》》》

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を背景に、トヨタサプライチェーンを狙ったサイバー攻撃が発生しました。大田工業連合会に所属する複数社にも、なりすましメールや不正アクセスが増加しています。当会は会員企業の情報セキュリティ強化に努めており、セキュリティ推進に積極的な工和会協同組合の事例を、他の団体の会員企業様の参考としてご紹介します。

▼工和会の取り組み① 推進体制構築

セキュリティ対策強化に前向きな5社がセキュリティ委員として中核になり、会員企業として実施すべきセキュリティガイドラインを作成しました。セキュリティに関する勉強会を開き、企業のセキュリティ脆弱性診断も行っています。

▼工和会の取り組み② ガイドライン策定

昨今は、インターネットやITの活用が事業遂行上必須となっています。同会はセキュリティに関するガイドラインを作成し、会員企業がセキュリティ対策をしやすい環境を構築しました。ガイドラインの作成にあたっては、会員企業へのアンケート調査や企業のITシステムの脆弱性診断で会員企業の実態を把握。IPA（情報処理推進機構）

が発行している中小企業向けのセキュリティガイドラインも参考に、会員企業が無理なく対応できるセキュリティ運用ルールを検討し「工和会協同組合 セキュリティガイドライン 第1.0版」を策定しました。

▼工和会の取り組み③ 今後のセキュリティ普及活動

工和会は今後、ガイドラインを勉強会や会報誌を通して周知し、順守のお願いを進めます。具体的なセキュリティ対策の導入にあたっては、工和会IT委員会を中心に支援する体制を整えます。

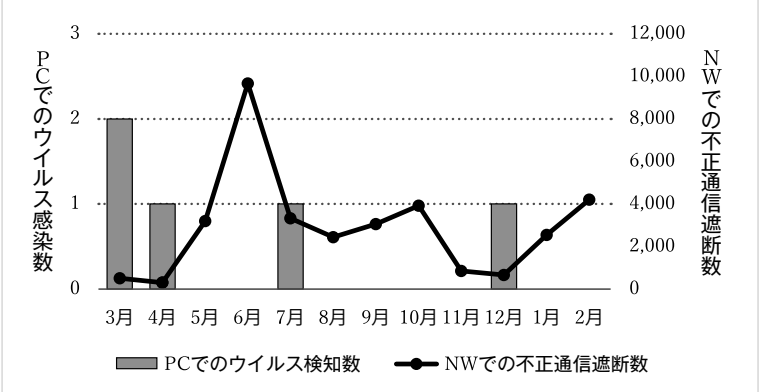
大田工業連合会としても、工和会で先行して実施したこの取り組みを、来年度以降、他の団体にも横展開し、大田工連全体として安心安全なIT活用を行うためのインフラを整備していきます。

最後に、当会会員企業30社が利用するPCとネットワークの監視サービスでのサイバー攻撃状況を報告します。

外部からのサイバー攻撃が、1月から急激に増加しました。この攻撃の9割以上が特定企業をターゲットにした攻撃で、本サービスのセキュリティ機器で全て遮

断しました。この攻撃の約6割が、ロシアからの攻撃であり、ウクライナ問題に関する攻撃の一部である可能性があります。サイバー攻撃は、社会情勢と連動して増加する傾向にあり、ウクライナ問題は遠い国のニュースではなく、当会会員にまで波及していることをご認識ください。特に当会会員企業は、防衛や重要インフラのサプライチェーンに属している企業も多いため、引き続き、パスワードは解読されにくいものにし、不審なメールは開かないなどセキュリティ対策にご配慮ください。

サイバー攻撃件数の推移



事務局から

第13回



令和3年度も、当事務局は感染症対策と各種情報発信に努める毎日でした。

こうした状況下、対面で実施出来た新入社員フォローアップ研修や子ども達を対象としたロボットプログラミング教室は貴重な事業であったと言えます。

ロボットプログラミング教室の開催時のこと、「大田区はものづくりのまちです。と聞いたことのある人!」と質問したところ、全員が元気よく手を挙げてくれました。「ものづくりのまち大田区」が子ども達に浸透されているようで嬉しく勇気づけられました。

一方で、世界を見渡すと、平和な日常の大切さを痛感する出来事が起きています。長引くコロナ禍と共に会員企業の皆さまからは、材料や資材が入手できない又は高騰しているなど多大なる影響が出ている状況をお聞きし、区等関係機関へ報告しております。また、本紙でもお伝えしておりますが、身近に迫るサイバー攻撃など、いよいよサイバーセキュリティを自分事として取り組む必要に迫られています。このような心配事やご相談事、ご意見など、何なりと事務局にお申し付けください。

新しい年度が皆様にとって実り多きものになる一助とさせて頂きましたら幸いです。

新春講演会・賀詞交歓会

大田工業連合会所属の4団体

浜野製作所（東京都墨田区）

浜野慶一CEOが登壇

大田工業連合会に所属する4団体（蒲田工業協会および経営研究会、大森工場協会およびY Mクラブ、工和会協同組合および工和成年会、蒲田工業協同組合および木鶏会）は1月13日、大田区産業プラザP i Oの2階小展示ホールで新春講演会・賀詞交歓会を合同開催した。新型コロナウイルスの感染第6波が拡大の兆しを見せ始めていたこともあり懇親会は中止。講演会のみ開催した。

講演者は東京都墨田区の板金加工業者であり、経済産業省の「地域未来牽引企業」「はばたく中小企業300選」に選ばれている浜野製作所の浜野慶一CEO（最高経営責任者）。多くのスタートアップの創業・発展を支援していることでも知られる有力企業だ。

講演タイトルは「東京・下町・町工場の挑戦!」。浜野CEOは「モノづくりの聖地であり、最先端のモノづくり企業が集う大田区で講演させて頂き、本当にありがたく思います」とあいさつし、話を始めた。

講演は浜野製作所の歴史を紹介しながら進んだ。1993年に創業者で先代社長だった父が亡くなり、浜野CEOが事業を継承する。しかし7



講演する浜野 CEO

年後の2000年、近隣からのもらい火により本社兼工場が全焼してしまった。「明日にも納めなければいけない製品があり、急いで中古の機械を探しに行ったが、お金がなく30万円のプレス機すら買えなかった。店に転がっていた1万円の足踏み式のプレス機を2台買い、必死の思いで仕事を再開した」（浜野CEO）

当時の浜野製作所は浜野CEOと友人の社員という2名体制だった。生産性の悪い機械を使い、焼け跡から掘り出した治具や金型を使い仕事する日々。当然、業績はどんどん悪化していく。「ついに友人にも給料が払えなくなり、ガラの悪い借金取りがウロウロするようになった」（同）。火事の補償として6000万円が支払われる話もあったが、支払いの直前になって支払い元の企業が倒産する。

もはやこれまでと思い、友人に会社の解散を申し出た浜野CEO。だが友人は「金が欲しくて働いているわけじゃない。アンタと一緒に働きたいから働いている。浜野製作所はまだ潰れていない」と言い切り、会社に残ったという。その後、2人は不断の努力を続け、同社は日本有数の中小企業へと成長した。

近年、浜野製作所は受託加工だけでなく、ロボットや装置の開発事業にも進出している。同社が開発事業を始めたころ、営業のため自社ホームページを作った。そこに「交通事故で車椅子生活になった娘のために、リハビリ用の改造ベッドを作って欲しい」という依頼が寄せられた。改造ベッドを納品した後、お客から感謝のメールが届いた。感謝を伝える文章の最後、余白部分に、大量の「感謝」の文字が並んでいたという。「小さな町工場でも誰かの人生を支えられる。モノづくりは本当に誇りたい仕事だ」と語る浜野CEO。熱い言葉は、講演会に参加した多くの企業人の胸を打った。

大田工業連合会

2022年度スケジュール

- 4月

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(1回目)

4月9日(土)、16日(土)、23日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30
- 5月

■新入社員セミナー

5月11日(水)、12日(木)、13日(金)(平日3日間) 9:30~16:30

■NCプログラミング初級講座

5月14日(土)、21日(土)、28日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●理事会 5月24日(火)
- 6月

■CAD製図初級講座(AutoCAD2022)(1回目)

6月11日(土)、18日(土)、25日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●大田工連定時総会 6月3日(金)
- 8月

■第1回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」8月5日(金) 9:30~16:30

■第2回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」8月25日(木) 9:30~16:30

■夏休み親子ロボット作り教室 8月20日(土)、21日(日)(2日間) 9:30~16:30
- 9月

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(2回目)

9月10日(土)、9月17日(土)、24日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

■やさしい図面の見方講座(城南職業能力開発センター大田校開催)

9月17日(土)、24日(土)(毎土曜日2日間) 9:15~16:30

■秋のロボットセミナー 9月中(土日2日間)開催予定

10月

■CAD製図初級講座(AutoCAD2022)(2回目)

10月8日(土)15日(土)、22日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●理事会 10月中開催予定

●優良従業員表彰

11月

■ロボットプログラミング教室 11月中開催予定

■新入社員セミナーフォローアップ研修 11月25日(金) 13:00~17:00

2023年

1月

■3団体(※)賀詞交歓会 1月中開催予定

(※)東京商工会議所大田支部・大田区商店街連合会・大田工業連合会

2月

■やさしい図面の見方講座(日本工学院での開催) 2月中(平日夜間5日間)開催予定

■次世代経営者育成セミナー 2月中開催予定

その他セミナーについては、日程が決まり次第ご案内させていただきます。